

## 2013年3月期 第2四半期決算説明会

2012年 11月2日



**日本ガイシ株式会社**

**NGK INSULATORS, LTD.**

### 本日のプレゼンテーション

- 2013年3月期 第2四半期連結決算概要
- 2013年3月期 連結業績見通し
- セグメント別業績見通し
- 中長期の成長に向けて
- 研究開発 設備投資
- 財務状況



(億円)	12年3月期	13年3月期	前年同期比
売上高	1,228	1,217	△1%
営業利益	158	113	△28%
経常利益	147	80	△46%
四半期純利益	109	12	△89%

前年同期実績は、会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値

□ は12年9月公表値

## 前年同期比 減収減益 四半期純利益は大幅な減益に

- 電力関連は横這い。セラミックスは日米の自動車関連市場は堅調も、増産投資等の費用先行。エレクトロニクスは総じて市況低迷。
- 為替差損やN A S 電池の安全対策引当金により営業外費用拡大。
- 投資有価証券評価損により四半期純利益は大幅な減益に。



(億円)	12年3月期	13年3月期	前期比
売上高	2,489	2,550	+2%
営業利益	265	230	△13%
経常利益	291	240	△18%
当期純利益	△354	160	—

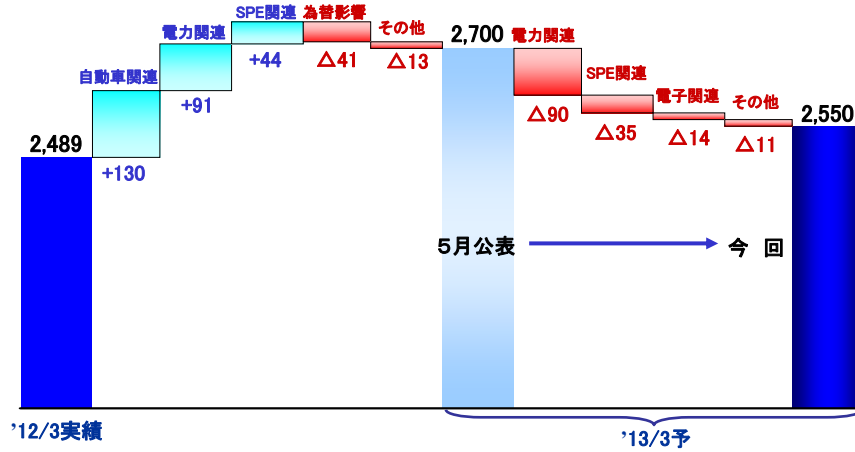
前期実績は、会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値

□ は12年9月公表値

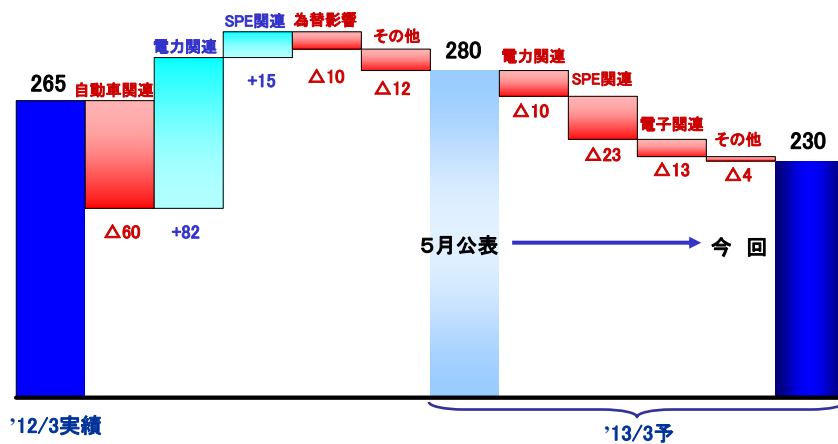
## 前期比 増収も営業利益、経常利益は減益の見通し

- エレクトロニクスは厳しい事業環境が下期も継続。電力関連はN A S 電池の大口出荷が来期繰延も、営業損失は前期比半減。  
セラミックスは日系自動車メーカーの減速を懸念。
- 当期純利益は、第2四半期の投資有価証券評価損はあるが、N A S 電池安全対策の特別損失を計上した前期比では大幅に改善。

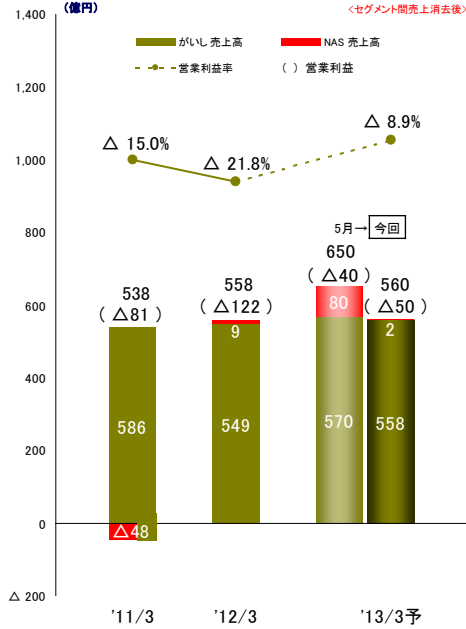
(億円)



(億円)



	前期('12/3)	当期('13/3)
為替レート	80円 /US\$ 111円 /ER	80円 /US\$ 101円 /ER



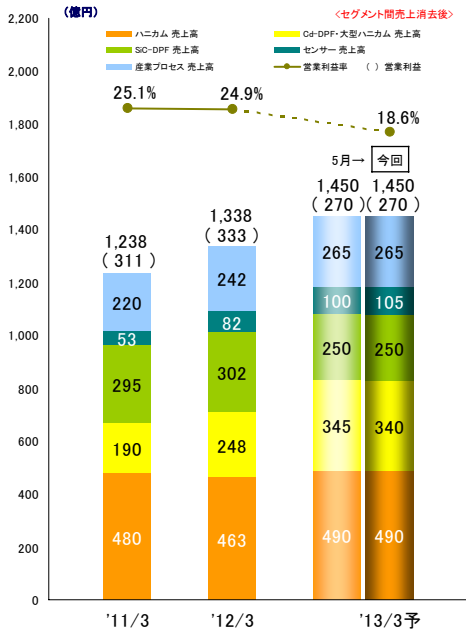
■ 事業環境

- ◆ **がいし** :
  - (国内)
    - 電力会社の設備投資抑制が継続
    - 更新需要は漸増
  - (海外)
    - 中国市場 電力需要鈍化 UHV計画は当面後退
    - カナダ直流、アジアUHV案件等 高品位がいし堅調
- ◆ **NAS電池** :
  - 出荷 海外案件は今期から来期に繰延
  - 生産 安全対策優先で生産再開は11月を予定

■ 課題

- ◆ **がいし** :
  - 中国の市場動向見極め
  - 日本、中国の4工場の役割と機能見直し
- ◆ **NAS電池** :
  - 安全対策の確実な実施と信頼の回復
  - 海外案件の着実な取り込み

※グラフ内の数値は遡及適用前



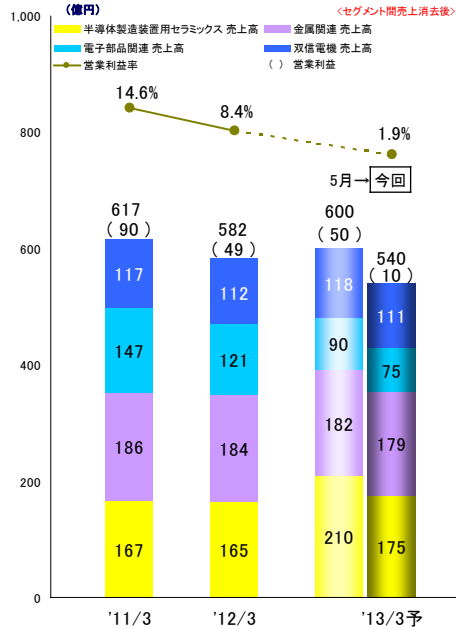
■ 事業環境

- ◆ **自動車関連** :
  - 各種排ガス規制強化のトレンド継続
  - 日本、米国乗用車販売の反動懸念
  - 欧州、新興国の景気減速
- ◆ **産業プロセス** :
  - 環境、医薬分野は堅調
  - 電子、電材分野は国内投資低調

■ 課題

- ◆ **自動車関連** :
  - 新規制対応における技術優位性の確保
  - 拡大するオフロード市場、新興国市場への拡販
  - グローバル増産体制の確立と原価低減
- ◆ **産業プロセス** :
  - 成長分野への注力

※グラフ内の数値は遡及適用前



- 事業環境
- ◆ 半導体製造装置用セラミックス：
    - ・期首見通しに比し、市況回復に遅れ
  - ◆ ベリリウム銅展伸材：
    - ・自動車向け中心に成長期待のアジア市場で競争激化
  - ◆ 電子部品：
    - ・インクジェットプリンター用部品、照明部品ともシェア低下

- 課題
- ◆ 半導体製造装置用セラミックス：
    - ・静電チャック拡販、溶射技術活用による事業拡大
  - ◆ ベリリウム銅展伸材：
    - ・自動車、産業機器用途が拡大する中国での拡販、差別化
  - ◆ 電子部品：
    - ・高機能品、新製品の創出を加速

※グラフ内の数値は遡及適用前

			<セグメント間売上消去後>		(億円)	
			12年3月期	13年3月期(予)	今後の動向	
電力	が い し		549	558	➡	国内更新需要が漸増
	N A S		9	2	➡	海外向け案件を見込む
	電力関連合計		558	560		
セラミックス	ハ ニ カ ム		463	490	➡	伸び率鈍化も需要は増加
	S i C - D P F		302	250	➡	物量は緩やかに増加も、売上横這い
	Cd-DPF・大型ハニカム		248	340	➡	規制導入でオフロード市場、新興国の需要増
	セ ン サ ー		82	105	➡	Euro6規制導入による需要拡大
	産 業 プ ロ セ ス		242	265	➡	環境、医薬分野の案件増を見込む
	セラミックス合計		1,338	1,450		
エレクトロニクス	金 属		184	179	➡	目先はアジア向け需要が低調
	半導体製造装置セラミックス		165	175	➡	市況回復は来年以降
	電 子 部 品		121	75	➡	高機能品の市場投入待ち
	双 信 電 機		112	111	➡	短期的な事業環境は厳しい
	エレクトロニクス合計		582	540		
全 社 合 計		2,478	2,550			

※上表の数値は遡及適用前

将来の柱となる新規事業を立ち上げる

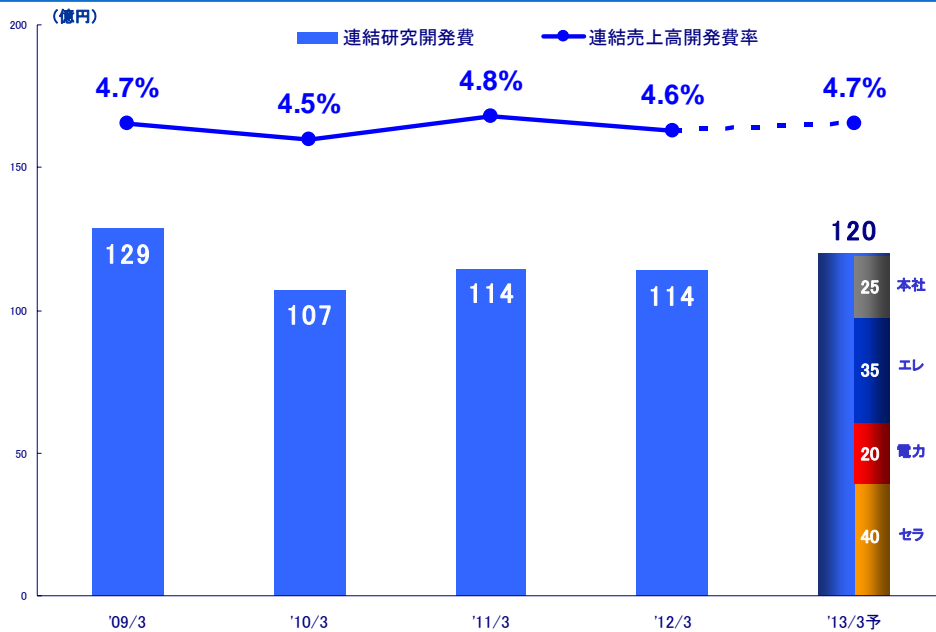
- ▶ 技術先進性を活かし、自動車関連に続く新規分野を創出

強い事業をより強く

- ▶ 自動車関連のグローバル生産体制確立
- ▶ 周辺領域の拡大による更なる事業強化

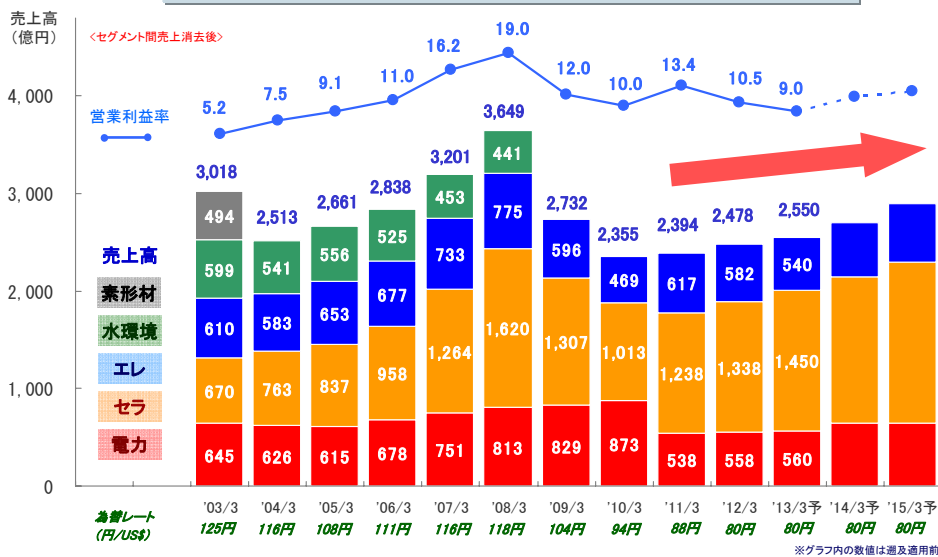
電力関連事業の収益性の改善

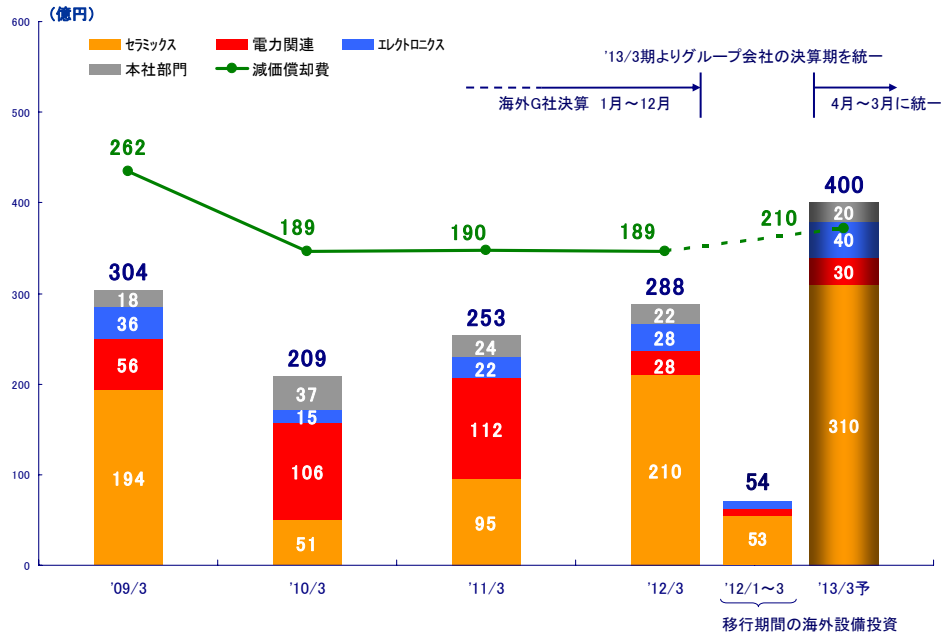
- ▶ NAS電池の海外展開と再生可能エネルギーへの拡販
- ▶ がいし事業の再構築



	複合ウェハー	窒化ガリウム(GaN)ウェハー
		
特徴	異なる材料のウェハーを貼り合わせることで、ノイズが少なく通信が途切れない高性能な通信機器部品を安価に作製することが可能	ウェハー全面にわたる低欠陥と無色透明を両立させることで、消費電力を50%以上削減できる高輝度LED光源の実現が可能
適用先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LTE対応SAWフィルター</li> <li>・周波数切替スイッチ</li> <li>・シリコンセンサー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高輝度 青色・緑色LED</li> <li>・高出力 青色・緑色レーザー</li> <li>・インバータ向け次世代パワー半導体</li> </ul>
最終製品	 スマートフォン  タブレット端末	 ビジネスプロジェクター  白物家電  ヘッドランプ  電気自動車

2012年度を成長の足がかりに、再出発



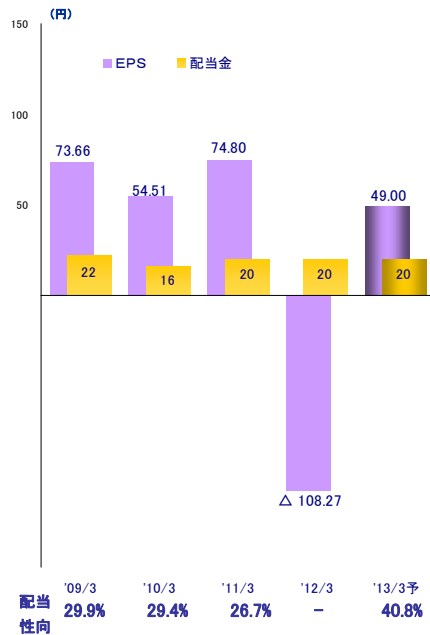
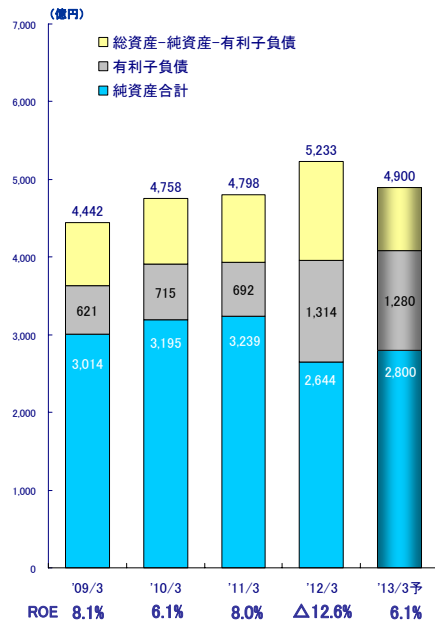


		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
乗用車	日本	ポスト新長期					(ポストポスト新長期)				
	米国	Tier2 / Bin5					(Tier3)				
	欧州	Euro5					Euro6 (Euro7)				
	中国	Euro4		Euro5			(Euro6)				
	インド	Euro4(13都市)、Euro3(その他)				Euro5(13都市)、Euro4(その他)					
トラック バス	日本	ポスト新長期					(ポストポスト新長期)				
	米国	US10					(US16)				
	欧州	Euro5					Euro6 (Euro7)				
	中国	Euro3		Euro4			(Euro5)				
	インド	Euro4(13都市)、Euro3(その他)				Euro5(13都市)、Euro4(その他)					
Off-Road 建機・農耕機など	日本	JP11		JP14			(JP17)				
	米国	Tier4a		Tier4b			(Tier5)				
	欧州	Step3		Step4			(Step4b)				



(億円)

	'11/3	'12/3	'13/3予
営業活動によるキャッシュ・フロー	367	139	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179	△454	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51	566	△120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△29	△44
現金及び現金同等物の増減額	96	221	△264
グループ会社決算期移行期間の増減額 ( '12/1~3)	-	-	△7
現金及び現金同等物期末残高	630	851	580



**事業別売上高(通期)**

 平成25年3月期  
 第2四半期決算説明会

(億円)

<セグメント間売上消去後>

	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期(予)
が い し	675	585	549	558
N A S	197	△48	9	2
電力関連合計	873	538	558	560
ハ ニ カ ム	388	480	463	490
S i C - D P F	249	295	302	250
Cd-DPF・大型ハニカム	88	190	248	340
セ ン サ ー	24	53	82	105
産業プロセス	264	221	242	265
セラミックス合計	1,013	1,238	1,338	1,450
金 属	164	186	184	179
半導体製造装置セラミックス	69	167	165	175
電子部品	139	147	121	75
双 信 電 機	97	117	112	111
エレクトロニクス合計	469	617	582	540
全 社 合 計	2,355	2,394	2,478	2,550

※上表の数値は遡及適用前

**事業別売上高(上期・下期)**

 平成25年3月期  
 第2四半期決算説明会

(億円)

<セグメント間売上消去後>

	12年3月期		13年3月期(予)	
	上期	下期	上期	下期
が い し	269	280	267	291
N A S	5	4	0	2
電力関連合計	274	284	267	293
ハ ニ カ ム	226	237	247	243
S i C - D P F	153	149	130	120
Cd-DPF・大型ハニカム	115	133	160	180
セ ン サ ー	37	45	47	58
産業プロセス	102	141	101	164
セラミックス合計	633	705	685	765
金 属	100	85	87	92
半導体製造装置セラミックス	93	73	80	95
電子部品	65	55	45	30
双 信 電 機	58	54	53	58
エレクトロニクス合計	316	266	265	275
全 社 合 計	1,223	1,255	1,217	1,333

※上表の数値は遡及適用前



この配布資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。



〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7212 Fax. (052) 872-7160

E-mail: [ir-office@ngk.co.jp](mailto:ir-office@ngk.co.jp)

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>